

<p>2. 留学生ネットワークの構築について</p> <p>神戸で勉強した外国人留学生が卒業し、それぞれ就職したり自国に戻ったりしているが、どの国の人がどこでどのように頑張っているか、追跡調査について教えてほしい。</p> <p>また、卒業生のネットワークを作って、これから例えば国際観光のPRをしていく時にそのネットワークをフルに活用するようなことも考えていく必要があると考えるがどうか。</p> <p>また、その卒業生が年に1度ぐらいは神戸で同窓会をするぐらいのアプローチをしたらどうか。</p>	<p>上田室長</p>	<p>平成19年度の日本学生支援機構の調査によると、留学生の卒業後の進路については、卒業後に日本国内で就職する留学生が、全体の30%。進学なども含めると、卒業後に国内にとどまる留学生の割合は、76%以上に上っており、年々増加する傾向にあるようである。</p> <p>県内の大学に関しても、就職・進学で国内にとどまる学生の割合は、57%に上っており、出身国に帰国する学生の割合（19%）を大きく上回っている。</p> <p>卒業後、国内・国外で活躍する留学生に、将来にわたって神戸に愛着をもってもらい、お互いの繋がりを維持してもらうため、在学中はもちろん、卒業後も、十分なフォローアップを行っていくことは重要であると考えている。</p> <p>そういった点で、同窓会組織のような仕組みが有効であることはご指摘のとおりであるが、就職する場合も含めて留学生の多くは卒業後の移動が激しく、所在の継続的把握が難しいという問題がおおる。</p> <p>過去にも何回かそういった同窓会的なものをつくる動きはあったが、定着させることは難しかった。</p> <p>本市では、市の奨学金を受けた留学生や留学生住宅入居者であった者に対しては、市政・生活情報などを日英語で掲載した機関紙「ajisai」、奨学生の会が独自に編集した「青春・夢 in KOBE」を定期的を送付することにより、神戸に関する最新の情報提供を行うなど、留学生OBのフォローアップに努めている。また、神戸で活動を行っている留学生OBについては、例えば昨年天津市との友好都市提携35周年事業に参加してもらうなど、神戸とのつながりの維持に努めている。</p>
---	-------------	---

		<p>一方で、大学単位では、平成 18 年に市内で最も留学生の多い神戸大学において、国籍別で最も多い中国人留学生が、「中国神戸大学同窓会」を発足させるなど、組織化が進みつつある。</p> <p>今後は、各大学と連携を十分に図りながら、このような同窓会組織を利用して、留学生 OB を効果的にフォローアップできるような方法を検討していきたい。</p>
--	--	--